

「学習の手引き」国語科（2. 3年生）

0.はじめに

国語科では、「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」など、社会で生きていくために必要なことを学んでいきます。しかし、みなさん一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。「読んだり、書いたり、話したりなんか勉強しなくてもできます」と。その通り、実際に勉強しなくても読んだり書いたりできていると思います。それでは、なぜすでにできていることを改めて国語科で勉強するのでしょうか。

国語を学ぶとは、新たな言葉や伝え方を知ることです。例えば「雨」という言葉がありますが、日本では「雨」を細かく分けています。「五月雨（さみだれ）」「篠を突く雨（しのをつくあめ）」「春雨（はるさめ）」「時雨（しぐれ）」・・・、日本には「雨」の呼び方が400語以上あると言われていています。「雨」が降って来た時に「あ、これは時雨だな」と言えるだけで格好良くないですか？物を見た時に「雨」だと思えるのか、「時雨」だと思えるのかで世界の見え方は全く違ったものになります。

また、伝え方も大切な力です。今まで生活していく中で、自分が伝えようとしていたこととは違った意味で伝わってしまい相手を傷つけてしまったり、自分の考えがなかなか伝わらずにイライラしたりしたことはありませんか。それはおそらく伝え方が良くなかったのだと思います。伝え方には様々な方法がありますが、自分の考えを伝える方法としては「意見一根拠一理由」を順番に話すというものがあります。しかし、この方法をわかっていてもなかなかその通りにはできません。繰り返しの練習が必要になります。

国語科では以上のような、言葉を知ることによって広がる世界を体験する、自分の思いを伝える方法を学んでいきます。これはたくさん失敗して、たくさん成功して身につけていくものですので、楽しくも真剣に国語を勉強していきましょう。

1.授業の受け方

- ① 授業が始まる前に教科書などの指示されたものを準備しましょう。
- ② 忘れ物をした場合、授業が始まる前に教科担任に報告しましょう。
- ③ はじめと終わりは元気にあいさつをしましょう。
- ④ 授業の初めに漢字や文法などのテストを行います。テストを行う場合には前もって連絡します。
- ⑤ 「わからない」と周りに助けを求められることを大切にしましょう。ただ、助けを求めることと人任せにすることは違います。
- ⑥ グループを中心とし、課題を解決するために協力しましょう。そのため、失敗したり間違ったりした人を馬鹿にしたり責めたりしてはいけません。失敗は全体の学びをより深める重要なものであり、失敗を恐れずに積極的に発言してほしいです。
- ⑦ 発言する場合は教室全体に意見が通るように体を向け、大きな声で発言しましょう。
- ⑧ 誰かが発言している場合は話すのをやめ、耳を傾けましょう。
- ⑨ 「楽しい授業」と「面白い授業」は違います。課題を解決するために真剣に学ぶことができる「楽しい授業」を目指しましょう。

2. 家庭学習の取り組み

- ① 授業で扱う文章を声に出して読んでみましょう（詩や和歌は音読み、語感やリズムを楽しむとよいと思います）。その文章を読んだ感想や考えたことを書き留めておきましょう。
- ② 漢字の書き取り練習をしましょう。一度練習した問題も1週間ほど置いてから再度練習すると効果的です。
- ③ ワークを解きましょう。これも時間を置いてから復習すると効果的です。
- ④ どのようなものでもいいから本を読みましょう。
- ⑤ 知らない言葉（熟語・ことわざ・慣用句等）があった場合は、その言葉を書き留め、辞書やインターネットを使い意味を調べましょう。
- ⑥ 学校で受けたテストで間違った問題を復習する。時間を置いて、再度テストをやり直してみましょう。
- ⑦ 問題が欲しい場合は教科担当の先生にお願いしましょう。

3. テストに向けた取り組み

- ① ワークを繰り返し取り組みましょう。ワークに書き込んでしまうと復習するのが難しくなるため、別にノートを用意し、そこに書き込むことをお勧めします。テスト前の最後の仕上げとして直接ワークに書き込みましょう。
- ② 漢字は、漢字テストで間違えた問題を中心に繰り返し練習しましょう。時間があれば、その漢字が含まれた熟語を調べて書いておくと忘れにくくなると思います。
- ③ 間違った問題に関しては、しっかりと解説を読みましょう。解説を読み、それでもわからない場合は友達や先生に質問しましょう。わからないをそのままにしない！